2022年度 施策マネジメントシート【2021年度実績評価】 作成: 2022 年 6 月 15 日

| 施策番号 | 歩 | スポーツしやすい環境づくり | 基本目標 | 心豊かで輝く人と文化を | 育むまた | らづくり |
|-------|--|----------------|------|-------------|------|------|
| 2-2-2 | 加束石 | スパープしつすい環境プラック | 政策名 | 地域文化の形成とスポー | -ツ環境 | の充実 |
| | 主 管 課 | 生涯学習課 | 課長名 | 日下勝祐 | 内 線 | 451 |
| | 施策関係課 | | | | | |

1. 施策の方針と成果指標

| 施策の方針 | | | 象 | | 意図 | | | 結果 |
|---|-------------------------|---------|----------|------------------|----------|----------|----------|-------------|
| 町民がいつでも気軽に自由にスポーツできる 環境づくりをすすめます。 | | | ·民 | ・いつでも気軽 ようにする | に自由にスポ | ポーツできる | 健康で明る | いまちづくりを実現する |
| 成果指標 | 説明 | 単位 | 策定時(2017 | 実績)2019年度実績 | 2020年度実績 | 2021年度実績 | 2022年度目標 | |
| スポーツしやすい環境であ ① ると思う町民の割合 | 住民意識調査 | % | 92.2 | 83.6 | 83.8 | 83.5 | 95.0 | |
| ② 芽室町内の体育施設利用 ② 者数 | 利用実績 | 人/ 年 | 177,63 | 165,626 | 115,020 | 124,734 | 180,000 | |
| 高校生以下の初心者が ③ ゲートボールを体験できる 機会 | 生涯字智課(旧社会教育課)調べ(教室・講座数) | 回/ 年 | 34 | 33 | 18 | 21 | 46 | |
| 4 | | | | | | | | |
| の 成果指標 設定の考え方 ②前期計画で達成できなかった数値を目標とするもの。 ③事業機会を30%UPで推進しようとするもの。 | | | | | | | | |

2. 施策の事業費

| | 2018年度決算 | 2019年度決算 | 2020年度決算 | 2021年度決算 |
|-----------|----------|----------|----------|----------|
| 施策事業費(千円) | 262,925 | 202,831 | 181,403 | 272,236 |
| 人工数(業務量) | 1.8149 | 1.9441 | 1.6899 | 1.8615 |

3. 施策の達成状況

| (1)施策の達成度 | とその考察 | | | | | | | |
|---|------------------------------------|-------------|---|---|--|--|--|--|
| | □ 成果は向上した | | スポーツ振興事業全般において昨年に引き続きコロー 感染症の影響により施設の閉館や事業の縮小または | | | | | |
| ①2021年度 の成果評価 (前年度との比較) | ☑ 成果は変わらなかった | 想定され る理由 | 止を余儀なくされ、十分な事業の実施とならず成果る げることができなかった。しかしながら、近年のソフト の充実と施設の運営や維持管理等に一定の評価を | | | | | |
| | □ 成果は低下した | | だいたものと解する。 | | | | | |
| | □ 現状の取組の延長で目標は達成できる | | は、多 | 企業・団体等との連携協定等ソフト事業の充実で 種目における事業実施と指導者の育成・確保のた 組を強化する。 | | | | |
| ②2022年度の目 標達成見込み | 現状の取組の延長で目標達成は難し | 根拠(理由) | 周辺施本町: | 体育施設再整備構想に基づき、プール建替に伴う 設との複合機能を強化する。 発祥のゲートボールは、再生計画の実施により競 | | | | |
| | □ 事業の見直しや新規事業の企画実施 をしても目標達成は難しい | | 技として継続できる環境づくりや特に若い世代への 活動に努める。 | | | | | |
| (2)施策の成果評 | 価に対する2021年度事務事業の総括 | | | | | | | |
| ①施策の成果向 | | ②施策の | 北田白 | 各種大会出場支援事業 | | | | |
| 上に対して貢献 | | とに対して | て貢献 「ゲートボール晋及活動事業 | | | | | |
| 度が高かった事 | | 度が低かる | | | | | | |
| 務事業 | | 務事業 | | スポーツ人材強化・育成事業 | | | | |
| ・スポーツ振興において民間企業・団体等との連携協定に基づく事業は、町民からの期待度も高く、すでに実施した事業への評価、満足度も高いといえる。しかしながら、昨年に引き続きコロナ禍で事業縮小や中止を余儀なくされた。今後もこれらの事業推進により町民満足度の向上を図る。・社会体育施設については、プール建替事業をはじめ、周辺施設の整備はもとより、町全体の施設整備や維持管理について社会体育施設再整備構想に基づき計画的な実施に努める。・ゲートボールの再生については、特に若い世代への普及を重点的に進め、継続して取り組める環境の整備等について関係団体と連携し強化しなければならない。 | | | | | | | | |

| (3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定時との比較) | | | | | | | | | |
|---------------------------------|--|------|---|---|---|---|---|--|--|
| In 40 == | コロナ下での事業縮小や施設の利用制限により成果は後退しているもの | | Α | В | С | D | Е | | |
| 担当課評価 | の、ソフト事業の充実や社会体育施設の計画的な整備については向上して いる。 ゲートボールの再生に向けた取組みが重要課題。 | 進捗結果 | | | | 0 | | | |

- A:実現した
- B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した
- C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

| 施策を取り巻く状 況と今後の予測 | ・スポーツ振興のソフト事業における民間企業・団体との事業連携強化。 「一流を見て、聴いて、学ぶ」ための町民参加事業の継続実施。 ・社会体育施設再整備構想に基づく計画的な施設整備と適切な運営、維持管理の実施。 プール建替事業の実施と周辺施設整備。町全体の社会体育施設再整備の計画的な推進。 ・ゲートボール競技人口の減少。若年層や現役世代社会人に対する普及活動の強化。 日本ゲートボール連合の「再生プロジェクト」及び本町の再生計画「挑戦の流儀」の実施。 ・スポーツ少年団活動継続のための指導者の確保。 |
|---|--|
| この施策に対し て住民や議会か らどんな意見や 要望が寄せられ ているか? | ・プール建替後の社会体育施設の計画的な整備。 ・社会体育施設周辺の環境整備(駐車場、トイレ、支障木)。 ・健康プラザ人工芝の適正管理。 ・ゲートボール普及事業の強化。 |

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

- ・民間企業・団体等との連携によるスポーツ振興ソフト事業の強化(一流を見て、聴いて、学ぶ)。
- →多種目における計画的な実施。 →指導者の育成·確保に向けた連携活動。
- ・社会体育施設再整備構想における計画的な施設整備。
- →プール建替に関する作業の適正実施と周辺施設との複合機能の充実。
- →施設機能の維持に要する計画的修繕
- ・ゲートボール普及事業において、日本ゲートボール連合が掲げる「再生プラン」への参画と、本町の再生計画の着実な推進。 ・少年団活動における指導者確保について、総合型地域スポーツクラブの調査研究と指導者派遣についての検討と事業化の見極め。 →中学部活動の地域移行との連携を見据えた対応策検討。

6. 経営戦略会議(庁内評価)

| | | | Α | В | С | D | E | | |
|-------|---------------------|---------------------------|------------------------|---|---|---|---|--|--|
| 評価 | 担当課評価同様に、維持したと評価する。 | 進捗結果 | | | | 0 | | | |
| 今後の取組 | 5に記載の取り組みを進めてください。 | A:実現した | | | | | | | |
| に対する | | B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した | | | | | | | |
| 意見 | | | C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した | | | | | | |

- D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した
- E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した

7. 総合計画審議会(外部評価)

| _ | | | | | | | | |
|----|---------------------------|---|------------------------------|---|---|---|---|---|
| | | | | Α | В | С | D | Ε |
| 評価 | 担当課評価、庁内評価と同様に、維持したと評価する。 | 進捗結果 | | | | 0 | | |
| | が後の取組 に対する 意見 | ・プール建設のハード面と、一流を見て学ぶソフト面を一体として取り組んでほしい ・総合体育館とプールの使用料の適正化、高校生以下の無料化に | A:実現した B:(前期実施 C:(前期実施 | | | | | |

- D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した
- E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した